

胆振管内 登別市立幌別小学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の各施設の見学や体験活動を通し、アイヌの人たちの文化について学び、文化の多様性を理解するとともに、自他の文化を大切にしようとする態度を養う教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

総合的な学習の時間において、社会科の学習と関連を図り、アイヌの人たちの歴史・文化等について学習したことにより、児童の興味・関心が高まりました。

(2) 情報の収集

「ウポポイ」では、プラザ方式と呼ばれる展示方式を採用しており、児童は、展示室中央の「プラザ」で、関心のあるテーマを発見し、周辺の詳細な展示で、さらに掘り下げて学び、理解を深めました。

また、見学を通して新たに生じた課題について、図書館の書籍やインターネットを活用した調べ学習により、学びを深めました。

(3) 整理・分析

自分たちが調べた内容について、分かりやすく伝えることができるよう、まとめ方を工夫しました。

(4) まとめ・表現

児童は、まとめに基づいて、壁新聞や劇など発表方法の工夫をして発表を行いました。発表に向けた取組を通して、児童が学びを深めたり、他の児童の発表を見て学びを広げたりするなど、多様な文化や他者への理解を深めました。



【展示を見学する様子】



【ポン＝チセを見学する様子】

3 児童の感想等

- ・博物館では、歴史のことをテーマにして調べました。コシャマインの戦い、シャクシャインの戦い、クナシリメナシの戦いの3つの大きな戦いについて知ることができました。
- ・学芸員の方が見学をする前に、「自分との違いを意識して見学してほしい。」と話していたので、昔のアイヌの人たちの様子を思い浮かべ、今の自分と比べながら見学しました。